

■被覆ブロックの選定について

(1) 選定の手順

被覆ブロックの選定は、以下の手順で行った。

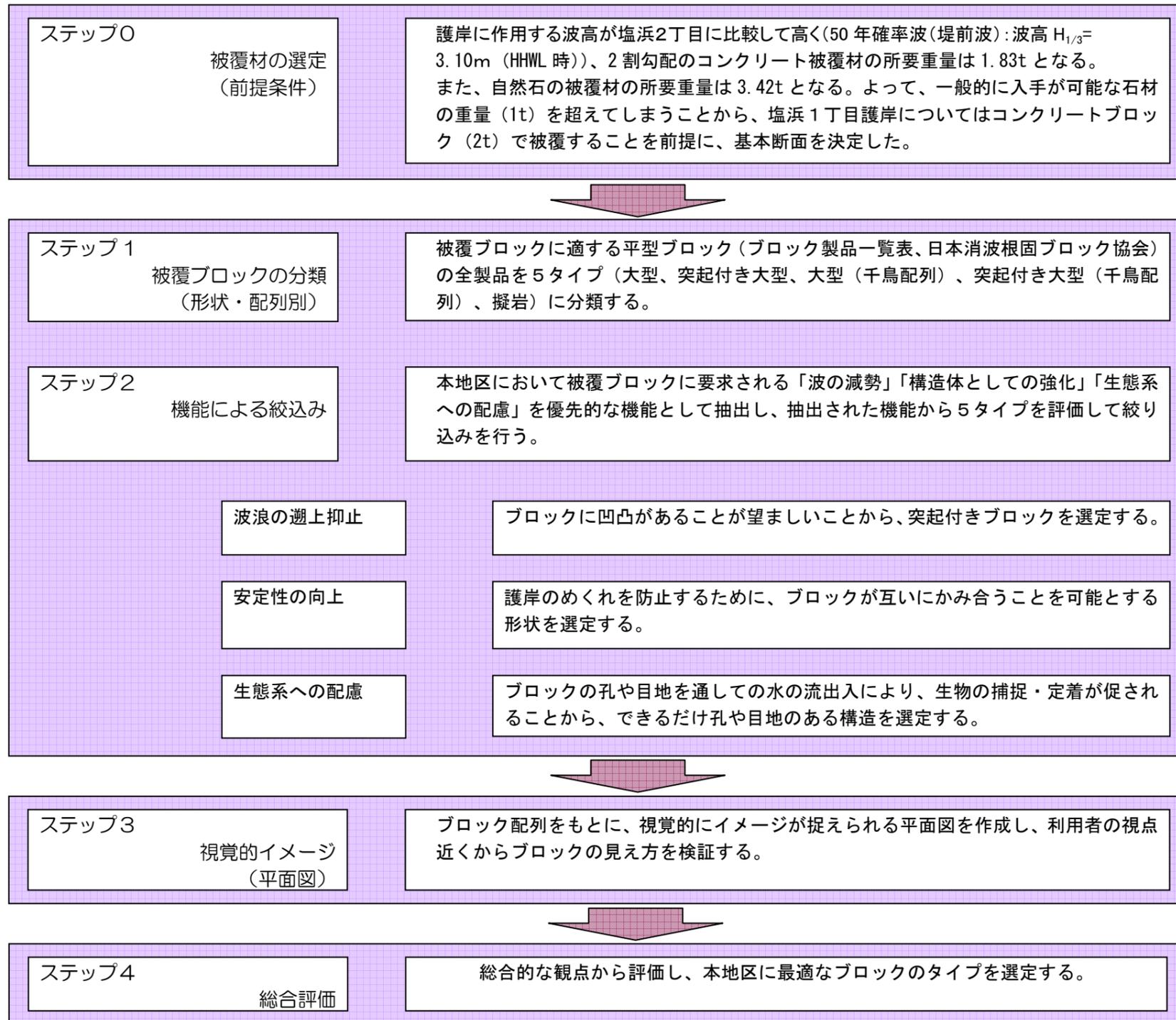
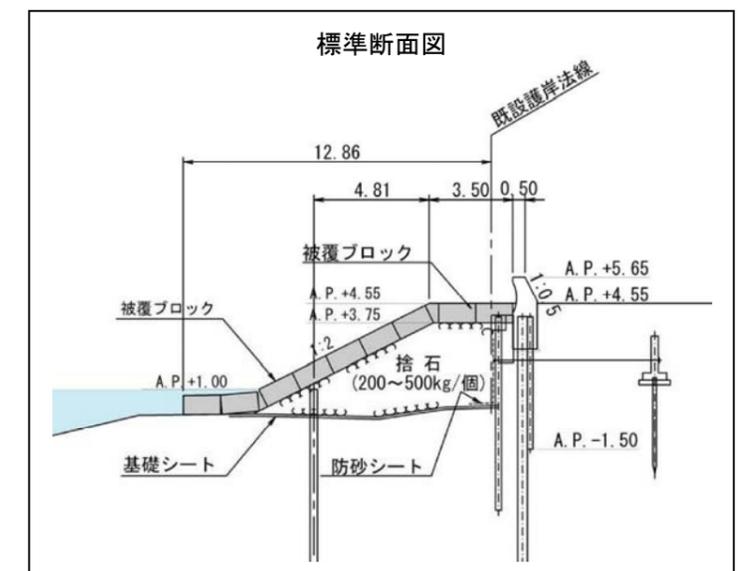
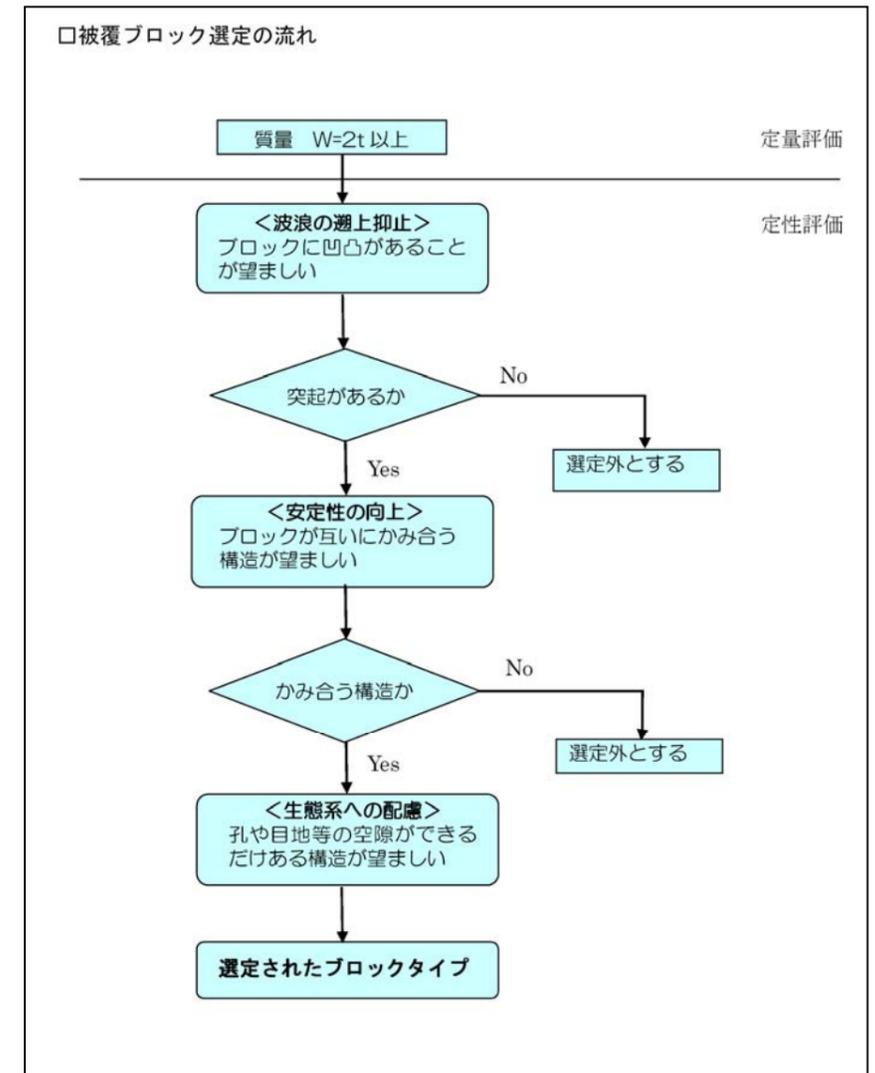


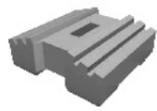
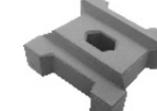
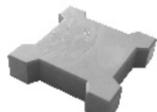
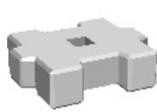
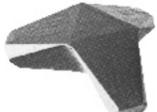
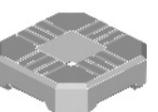
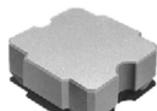
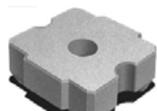
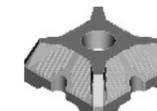
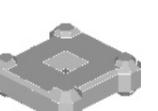
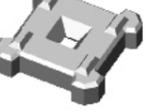
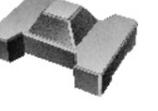
図1 被覆ブロック選定フロー



(2) 被覆ブロックの分類 (ステップ 1)

消波根固ブロックのうち、被覆に適する平型ブロック (2t) を、日本消波根固ブロック協会HPのブロック製品一覧表から抽出して表 1 に整理した。ブロックの総数は60程度であり、大きくは「大型」、「突起付き大型」、「擬石」の3タイプに分類される。その内、大型と突起付き大型は、その配列から「標準 (突き合せ) 配列」と「千鳥 (組み合せ) 配列」に分類される。よって、ブロックは表 1 の5タイプに分類される。

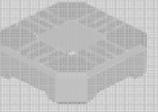
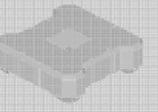
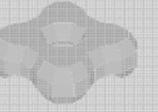
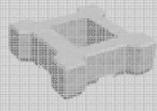
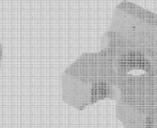
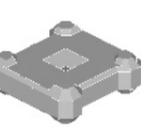
表 1 第一次選定被覆 (平型) ブロック一覧

大型 (標準配列)	突起付き大型 (標準配列)	大型 (千鳥配列)	擬石
 A1  A2  A3	 B1  B2  B3  B4	 C1  C2  C3	 E1  E2
 A4  A5  A6	 B5  B6  B7  B8	 C4  C5  C6	
 A7  A8  A9	 B9  B10  B11  B12	 C7  C8  C9	
 A10  A11  A12	 B13  B14  B15  B16	 C10  C11  C12	
 A13  A14	 B17  B18  B19  B20	突起付き大型 (千鳥配列)	
	 B21  B22  B23  B24		 D1  D2  D3
		 D4  D5  D6	

(3) 機能による絞込み (ステップ 2)

第 32 回委員会 (H22.10.12) において、基本断面形状の工夫により想定外力に対する越波抑止性能を高める (基本断面に対し 78% の低減) ことができた。ここでは、海域と陸域の境界である被覆ブロックに要求される機能を抽出して、前節で整理した 5 タイプを絞り込むものとする。本地区の被覆ブロックは、越波抑止性能をさらに高めることが要求される。このため定性的な効果であるが、波の減勢効果が比較的高い凹凸を有する、つまり「突起付き」ブロックを選定するものとする。さらに、相互のかみ合わせにより配列したブロックが一体構造となる、つまり「かみ合わせ」の良い配列ブロックを選定する。この結果、ブロックは表 2 に示すように突起付き大型 (千鳥配列) のタイプに絞り込まれる。なお、生態系配慮の観点から、ブロックの孔や目地を通して水が流出入することにより、生物の捕捉・定着を期待できる構造が望ましい。

表 2 第二次選定被覆 (平型) ブロック一覧

大型 (標準配列)	突起付き大型 (標準配列)	大型 (千鳥配列)	擬 石
 A 1  A 2  A 3	 B 1  B 2  B 3  B 4	 C 1  C 2  C 3	 E 1  E 2
 A 4  A 5  A 6	 B 5  B 6  B 7  B 8	 C 4  C 5  C 6	
 A 7  A 8  A 9	 B 9  B 10  B 11  B 12	 C 7  C 8  C 9	
 A 10  A 11  A 12	 B 13  B 14  B 15  B 16	 C 10  C 11  C 12	
 A 13  A 14	 B 17  B 18  B 19  B 20  B 21  B 22  B 23  B 24	<p style="text-align: center;">突起付き大型 (千鳥配列)</p>  D 1  D 2  D 3  D 4  D 5  D 6	